

杜の都駅伝

前年上回る21位でゴール

声援を背にタスキつないだ



笑顔でゴールテープを切る漆戸さん



漆戸（ゆき）さん

ついにタスキが最後の粘りにつながった。第34回全日本女子駅伝校選手権大会(杜の都駅伝)が10月30日、秋晴れの宮城県仙台市で行われ、女子競走部は最後の6区で1人抜き2時間15分30秒でゴール。出場26チーム(オーブン参加1チーム)中、総合21位と初出場だった昨年より2分以上タイムを縮め、順位も一つ上げた。

レースは仙台市陸上競技場から仙台市役所前市民広場までの6区間38キロで争われ、女子競走部は△1区(6・4キ)、川崎美祈さん(人間2・山形県山形城北高)△2区(5・6キ)、庄司琴美さん(経営1・宮城県常盤木学園高)△3区(6・8キ)、千葉悠里奈さん(人間2・宮城県北上翔南高)△4区(4・8キ)、牧野あやさん(経営2・岩手県北上翔南高)△5区(9・2キ)、原田詠麻

(5・6キ)と6区

笑顔でゴールテープを切る漆戸さん

漆戸（ゆき）さん

漆戸（ゆき）さん